

議事概要記録

開催日時	平成 28 年 6 月 25 日 (土) 11:40 ~ 13:00	開催場所	かんぼの宿 紀伊田辺 2階 会議室 3
会議種別	平成 28 年度 第 4 回理事会	議長	大石 博晃
		書記	神藤 洋次
出席者 <敬称略>	竹中 正人、大石 博晃、畑 忠良、木下 博之、田中 規仁、神藤 洋次、 蓬台 克之、丸澤 佳子、栗林 伴有、脇村 小津江、稲垣 充也、 田原 靖子、山本 須美子、相根 弘史、湊 健、瀧口 良重、16 名		
欠席者 <敬称略>	久保 光史	オブザーバー	
次 第			
議事概要	<p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会長報告 2. 第 4 回常務理事会報告 3. 事務局報告 4. 学術部報告 5. 経理部報告 6. 各種委員会報告 <ul style="list-style-type: none"> (ア) 公益事業活動 (イ) 定款・渉外 (ウ) 災害対策委員会 (エ) 精度管理 (オ) データ標準化 (カ) 会誌編集 (キ) ホームページ (ク) 会報 (ケ) 月例行事予定表 7. その他 <ul style="list-style-type: none"> 平成 28 年度 検査説明・相談のできる臨床検査技師育成講習会の案内 (資料 5) 平成 28 年度全国「検査と健康展」 (資料 6) 和歌山学会進捗報告 <p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. その他 		
	決議事項 及び 継続事項	<p>定刻に、議長・大石副会長より開会宣言があった。</p> <p>冒頭、竹中会長より挨拶があった。今会議より新体制会が始まり、各理事が良好な人間関係を構築していき責任をもって職務を果たして欲しいこと、また次世代の技師会を担う人材を育てていきたいと開会の挨拶があった。</p> <p style="text-align: center;">報告事項</p> <p>会長報告 日臨技関連として 6 月 18 日 (土) に大石副会長と日臨技総会 (大森東京 REI ホテル) に出席し、総会</p>	

は成立したと報告があった。

今後の予定として成田で日臨技新理事研修が8月6日（土）、7日（日）にあり出席する予定であるとのことであった。

日臨技支部関連の今後の予定として

7月16日（土）に新旧の引き継ぎを兼ねた近畿支部幹事会に出席する予定とのことであった。

和臨技関連の今後の予定として

10月29日（土）、30日（日）に検査説明・相談ができる技師育成講習会（紀三井寺はやし）が開催予定とのことであった。

12月23日（金）に和歌山市で災害対策フォーラムが開催予定とのことであった。

他団体関連の今後の予定として

6月30日（木）に和歌山県病院協会理事長とメディカルスタッフ団体懇談会（グリルなかむら）が開催予定とのことであった。

7月11日（月）に和歌山県知事とメディカルスタッフ団体懇談会（アバローム紀の国）があり大石副会長と出席する予定とのことであった。

11月6日（日）に県病院協会学術大会（アバローム紀の国）が開催されるとのことであった。

質疑で検査説明・相談ができる技師育成講習会は3か年計画で行われる予定であったが今後は近畿ブロック単位で開催はあり得るのかと質問があり、今後の開催についての詳細は不明との回答があった。

第4回常務会報告

日立ハイテクノロジーズから企業研修会を行った際の生涯教育点数加点について質問があり、日臨技および都道府県技師会がJAMTISに生涯教育として登録した勉強会以外にも日臨技の規定では関係団体の行った勉強会について生涯教育点数加点は可能である。その際、会員個人が自己申請を行うことが基本であり、参加証内容（事項）については企業が問い合わせて対応していくことと報告した。後援となった場合はその都度審議すると報告した。

平成28年度全国「検査と健康展」は事務局が主体となっているが、主催経験もある田中理事を中心に行って頂くことを決定したと報告した。

和臨技より指名推薦する、感染講習会や日臨技主催の講習会等があった場合は、各方面と相談しながら、理事にも協力の要請を行うことを報告した。

和臨技メーリングリストの充実を図っていききたいと報告した。

事務局報告

5月31日に平成28年度日臨技近畿支部指定輸血研修会開催案内開催予定であると報告した。

6月1日に第21回和歌山県病院協会学術集会シンポジウム会議に木下学術部長が出席したと報告した。

6月2日に平成28年度日臨技近畿支部医学検査学会学術奨励賞が決定したと報告した。

6月6日に全国役員名簿作成依頼があり日臨技に名簿を提出したと報告した。

6月9日に都道府県各技師会事務局、関連団体、協賛企業に改選に伴う挨拶状を送付したと報告した。

6月10日に日立ハイテクノロジーズから企業研修会を行った際の生涯教育点数加点について可能ではあるが、会員個人が申請し加点審査は日臨技が行う事を回答すると報告した。

6月14日に新理事及び監事に学術権限を付与したと報告した。

6月14日に和臨技と医学中央雑誌刊行会間で「会誌和臨技」の著者抄録利用許諾に

関する医学文献利用許諾契約を行ったと報告した。

学術部報告

第19回学術部一泊合同研修会が6月25日から26日に12施設、51名（賛助会員5名）の合計56名で行われ、内容として教育講演（K-J法）、症例検討（臨床化学、生理機能）、臨床講演（肺疾患について（国立病院機構南和歌山医療センター 臨床検査科長・病理診断科長 北市 正則 医師））を行うと報告があった。

日臨技の検体採取等に関する厚生労働省指定講習会が7月9日（土）～10日（日）に開催され、実務員として木下、大石、久保、相根、三宅、伊庭、堀端、和田、林、井本、佐藤、南方を派遣すると報告があった。

講師のスケジュールにより当初のプログラムより大幅な変更があった。一日目は、受付開始が遅くなったため前日に準備を行うことなく、当日に用意することが可能となったが、二日目は余裕のないプログラムで9:00から19:00までと長時間の講習会になると報告があった。

6月1日（水）に和歌山県病院協会学術集会第1回シンポジウム会議に出席したと報告があった。

6月15日（水）にアンケートを提出し内容を集計し発表を行いたいと報告があった。

9月7日（水）に第2回シンポジウム会議に出席予定と報告があった。

コミュニケーション事業を今年度から行い、若手技師が中心となり、技師会内の交流を行いたいとあり交流方法などは後日報告するとあった。

経理部報告

旅費の計算方法として自宅の最寄り駅より計算しており、各理事に対して確認して訂正があれば連絡してほしいと報告があった。

各種委員会報告

会長より新理事に対して各担当職務の報告があり承諾を得た。職務担当は以下の通りであり、また災害対策委員会における統括を廃止し、委員長だけと報告があった。

*精度管理委員会 委員長 久保 光史

*データ標準化事業推進委員会 委員長 久保 光史

*公益事業活動委員会 統括 畑 忠良

委員長 田原 靖子（がん・ピンクリボン）

委員長 相根 弘史（HIV/AIDS・STI）

委員長 稲垣 充也（医療セミナー）

*会誌和臨技 編集発行委員会 委員長 栗林 伴有

*表彰審査委員会 委員長 木下 博之

竹中 正人、大石 博晃、畑 忠良、神藤 洋次、田中 規仁

*ホームページ作成委員会 委員長 丸澤 佳子

*定款検討委員会 委員長 大石 博晃

竹中 正人、畑 忠良、神藤 洋次、木下 博之、田中 規仁

*災害対策委員会 委員長 田原 靖子

*コミュニケーション委員会 委員長 木下 博之

山中 拓哉、片山 裕太、石倉 美月、関本 明夏、福島 美幸

*会報 山本 須美子、脇村 小津江

*広告募集 神藤 洋次

*月間行事予定表 湊 健

*無料職業紹介 神藤 洋次

事務局より、各種委員会の委員長は委員を任命できる事を説明した。また任命する

委員に対して委任状を発行するため、事務局より配信するファイルに記入して、Eメールにて和臨技事務局まで送って下さいと報告があった。

公益事業活動

特になし

定款・渉外

特になし

災害対策委員会

特になし

精度管理

前回からの審議事項であった和臨技精度管理回答報告方法をデジタルによる回答方法に変更したいという件において、FAX 回答を使用している施設に変更を打診した結果、10 施設中 8 施設は変更可能、2 施設は調整中のため後日報告するとあった。また、今年度はデジタルを使用しての回答の方向で行いたいと詳細は後日報告するとあった。

データ標準化

特になし

会誌編集

論文募集に際して、前年度に和歌山学会がなかったこともあり、各施設に募集協力要請があった。会誌和臨技の発行時期、募集時期は例年通り行うと報告があった。

ホームページ

新役員に内容を刷新したと報告があった。

会報

66 号が配布されたと報告があった。次号 67 号の発行は 10 月頃を予定しており、終了した事業報告や近畿支部学会報告などを掲載する予定とのことであった。また、新理事自己紹介の投稿依頼もあった。

検査室紹介も新理事と引き続き行って行くと報告があった。

月例行事予定表

行事予定表への企業広告申し込み数の件もあり、9 月号より配布方法の簡素化も含めて、審議して頂きたいと報告があった。

その他

平成 28 年度全国「検査と健康展」について今後詳細を詰めて報告するとあった。

今年度の和歌山県医学検査学会の件であるが、会場は成人病センター、会期は 2 月 25(土)～26(日)を予定していると報告があった。内容として、特別講演は竹中会長、大石副会長に依頼したと報告があった。広告募集に対して集まりが悪いため、趣意書を作成して再度お願いするが、各施設からも募集に協力して欲しいと報告があった。

審議事項

行事予定表への企業広告申し込み数が少ないため 9 月号より経費削減のため賛助企業には、郵送で行っていたものをメール配信で行いたいと提案があり全会一致で承認

	<p>した。</p> <p>理事全員に名刺を作成して欲しいとあり全会一致で承認した。作成は田中理事が担当し、名刺が不要の時は連絡する。また名刺の見本は担当者から報告するとあった。</p> <p>理事と学術部班員の兼務について、兼務は前例があり関係する学術班と相談しながら判断したいため継続審議となった。</p> <p>畑副会長より閉会宣言があり、今後2年間、技師会を盛り上げて頑張っていって欲しいと挨拶があった。</p>				
記録作成	平成28年6月27日	氏名	神藤 洋次	提出	平成28年6月27日

※ 諮問委員会で「報告書」が提出される場合、「委員会議事録」が別途作成添付される場合は添付資料で可